



## ペンギンはどうして飛べないの

### つばさが、変化してしまったから

ペンギンはどの仲間も、水にもぐったり、泳いだりするのに便利なように、つばさがひれのような形に変化してしまっています。このため、空を飛べなくなりました。

ペンギンは、卵を産んで子育てをするとき以外は、ほとんど水の上にかんだり、水中を泳いだり、もぐったりして、魚をとらえてくらしています。

ペンギンの先祖は、ほかの鳥と同じように、空を飛べる鳥だったようです。きっと、カモメのように、水にかんで生活しながら、ときどき空を飛んでいたのでしょう。やがて、えさの魚をとるのに便利なように、水中で速く泳ぐとか、水にもぐるのに便利な体に、変化していったと考えられます。空を飛べなくても、生きて子孫をふやしていけたのです。

### ペンギンの体の特徴

ペンギンは、首は短く、水中でも体温をうばわれないよう脂肪がたくさんついた、ずんぐりした体つきになりました。空を飛ばなく

なったため、ほかの鳥たちのように、できるだけ体を軽くするという必要がなくなりました。そのため、脂肪がついて体重が重くなっても、さしつかえなかったわけです。

ペンギンは、つばさが変化したひれで、全速力で泳ぐため、空を飛ぶ鳥と同じように、ひれを動かす胸の筋肉や骨は強く、発達しています。（監修・今泉 忠明）

